

令和5年度 第6回

鳩 山 町 教 育 委 員 会 会 議 録

令和6年1月26日 開会

令和6年1月26日 閉会

鳩山町教育委員会

令和5年度第6回鳩山町教育委員会

1 招集期日 令和6年1月26日(金) 鳩山町役場 委員会室

2 開閉日時及び宣告者

開 会：令和6年1月26日(金) 午後1時30分 教育長 宮崎宣男
閉 会：令和6年1月26日(金) 午後3時28分 教育長 宮崎宣男

3 教育長及び委員の出席状況

教 育 長	宮崎 宣男	出席
1 番	小峰 洋	出席
2 番	山口 尚人	出席
3 番	伊藤 絵里子	出席
4 番	村岡 満子	出席

4 教育長、委員及び傍聴人を除くほか、議場に参加した者の氏名

教育委員会事務局長補佐兼総務・学校教育担当主幹	松ノ元 弘毅
鳩山町立鳩山幼稚園 教務・指導担当主幹	坂元 正太

5 書 記 教育委員会事務局長 島野 紀美夫

令和5年度第6回鳩山町教育委員会議事日程

令和6年1月26日(金)
鳩山町役場2階委員会室

開 会

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 教育長の報告

- (1) 一般教育行政報告
- (2) その他

日程第3 議 事

議案第9号 鳩山町立鳩山幼稚園魅力アップ計画(案)について

日程第4 そ の 他

- (1) 協議事項
- (2) 教育委員報告事項
- (3) その他
- (4) 次回教育委員会の開催日程について
 - 2月の候補
[令和5年度の議題：令和5年度当初教職員人事異動の内申について]
19日(月)・20日(火)・22日(木) 13時30分～
 - 3月の候補 [令和5年度の議題：令和5年度鳩山町教育行政重点施策及び努力点の制定について、専決処分の報告について(令和5年度鳩山町教育委員会所管当初人事異動の内申)]
25日(月)、26日(火)、28日(木)、29日(金) 13時30分～

閉 会

◎ 開会の宣告（午後1時30分）

○宮崎宜男教育長

- ・ただいまから、令和5年度第6回鳩山町教育委員会を開会する。
- ・進行は職務代理者をお願いする。

◎ 日程第1 前回会議録の承認

○小峰教育長職務代理者

- ・日程第1、前回会議録の承認について事務局長より説明をお願いしたい。

○島野事務局長

- ・令和5年11月22日に開催した令和6年度第5回教育委員会会議録の原案を事前に委員の皆様へ郵送させていただいた。
- ・誤字、脱字等お気づきの点があれば、お知らせいただきたい。
- ・

○小峰教育長職務代理者

- ・この件について、質疑及び訂正事項等はあるか。

【質疑等】

○小峰教育長職務代理者

- ・P10の村岡委員の発言の最終行の「検討依頼の話が出てくる可能性がある。」は「検討依頼の話が出てくる可能性がある。」の誤りではないか。

※ご指摘のとおり訂正する。

（その他質疑なし）

（全委員署名）

◎ 日程第2 教育長の報告

（1）一般教育行政報告

○小峰教育長職務代理者

- ・日程第2、教育長の報告について、宮崎教育長及び島野事務局長から、（1）一般教育行政報告をお願いしたい。

○宮崎教育長

- ・私からは6点説明する。
- ・第一が、来年度の児童数と学級数についてで、資料1-1、1-2をご覧ください。なお、1-2は法定の学級数であって、弾力的な運用を行う6年生は実際とは異なる。児童生徒数の減少に歯止めがかからない現状ではあるが、今宿小学校にあっては、今後の動向により、新一年生が2クラスになることもある。同校の新3、5、6年生も2クラスになる予定である。
- ・第二が、体罰・性暴力に係るアンケートについてである。資料2-1、2-2をご覧ください。綱紀粛正が叫ばれて久しいが、アンケートの実施が歯止めの一つにもなると考え、令和5年度における各学校の実態について調査を行うものである。
- ・第三が、鳩山町子どもきらめきプラン（不登校児童生徒の指導の在り方と民間施設等との連携に係るガイドライン）についてで、資料3をご覧ください。各学校の指導に資するため、フリースクールとの連携及び指導要録上の扱いについて具体的なガイドラインを定めるものである。子どもの居場所づくりに向けた「鳩山町子どもきらめきプラン」の中核に据えるとともに他の支援計画も徐々に整えていきたいと考えている。
- ・第四が連絡事項で、まず、行事についてで、二十歳を祝う会は90%の参加率、正月マラソン大会は200名近い出場者があった。次に、就学援助についてで、資料4を各校に配布済みである。更に、管理職試験結果についてで、資料5にあるように年々倍率低下が見られ、人材育成が喫緊の課題である。最後に、部活動の地域移行についてで、部活動の地域連携検討委員会を令和6年度中に立ち上げ、議論を深めたいと考えている。
- ・第五が、各小中学校、園の入学式、卒業式への町議会議員の出席についてで、資料6-1、6-2をご覧ください、教育委員の出席について調整したい。
- ・なお、入学式・卒業式の町議会議員の出席に関する各校長・園長の要望は、できれば今後も本年度同様ご招待は遠慮したいというものだったので、議会と調整後改めて相談すると回答し、1月14日（水）9:30から石井議長、大賀副議長と話し合った。入学式は各校園とも議員の招待はせず、小学校の卒業式は議会の代表1名（議長、副議長、福祉文教委員会委員長で協議）が出席、幼稚園、中学校にあっては代表2名（議長、副議長）を原案とし、2月9日の町議会議員全員協議会の説明を経て、再度各校園長と調整し、2月の教育委員会に報告する。
- ・第六が、幼稚園魅力アップ計画についてで、後程議事で扱う。議案第9号資料のとおり、3年保育の開始、給食の提供、時間外保育時間の延長という3つの改革を柱とし、鳩山幼稚園の特色ある教育活動も明らかにした計画で、パブリックコメントを求めることとしている。なお、現在の入園希望者は年少組1名、年中組3名、年長組は6名の予定である。
- ・私からの報告は以上である。

○小峰教育長職務代理者

- ・宮崎教育長からの報告に対し、質疑のある場合はお願いしたい。

○山口委員

- ・資料3の鳩山町「子どもきらめき」プランは良いと思う。

○宮崎教育長

- ・学校を欠席している生徒が、はーとん教室へ1時間半滞在すると出席扱いにしてよいのかとの疑問もあったが、公的な学習活動は出席にする必要があると考えた。

○山口委員

- ・どの市町村も出席扱いにしていると思う。

○小峰教育長職務代理者

- ・は一とん教室通学日は出席扱いにしてよいが、は一とん教室開設日以外の日は欠席扱いではないか。

○宮崎教育長

- ・は一とん教室開設日である火・水・木曜日は出席で、月・金曜日は欠席となる。

○小峰教育長職務代理者

- ・週に3日出席扱いになる。はっきりとこのような形で運用していければ良いと思う。

○宮崎教育長

- ・鳩山町「子どもきらめき」プランについてはこのような形で進め、運用しながらより良いものに変えていきたい。

○村岡委員

- ・出席日数が最も影響を受けるのは高校受験なのか。

○宮崎教育長

- ・出席数が合否に直接関わっているとは聞いていないが、全く影響がないとの情報もない。不登校者への枠を確保している学校もある。私立の高校の合否については合格の基準は各校の考え方による。

○村岡委員

- ・出席日数を確保してあげた方が良いのか、出席を認めてあげた方がその子のためになるのか。出席扱いにして不利になることはないし、無責任になることはないと思うので、出席扱いにしてあげた方が良いと思う。

○小峰教育長職務代理者

- ・出席扱いにする方が問題は少なくなると思う。

○宮崎教育長

- ・選択の幅に影響はあるが、高校生になれないという訳ではない。

○山口委員

- ・出席日数は高校の側で内申点に影響があると思うが、公表していないので、どこまで換算しているか分からない。

○小峰教育長職務代理者

- ・マイナスになる可能性はないが、出席日数を何らかの形で資料として換算している場面もあるか

もしれないと思う。

- ・では、このガイドラインの方針でよろしいか。

※委員了承

○小峰教育長職務代理者

- ・二十歳を祝う会の出席者が9割を超えるとは驚きで、生徒数は減っているのにこんなに出席者がいると感じた。開演前に楽しそうにしていた出席者が、開園後は静かになり、態度が良かった。
- ・就学援助についてだが、在校生にも毎年申請が必要なことを連絡し、4月分が支給できないといった事態が起きないようにされたい。

- ・卒業式及び入学式への出席者を決定したい。

※委員間協議により、

- ・卒業式出席者は、亀井小学校が山口委員、今宿小学校が伊藤委員、鳩山小学校が村岡委員、鳩山幼稚園が小峰職務代理者となった。
- ・入学式出席者は、亀井小学校が伊藤委員、今宿小学校が山口委員、鳩山小学校が小峰職務代理者、鳩山幼稚園が村岡委員となった。

○小峰教育長職務代理者

- ・それでは、事務局長からの報告をお願いしたい。

○島野事務局長

- ・私からは、令和5年第4回12月定例会について」報告させていただく。
- ・【資料7-1】をご覧いただきたい。今回の定例会は、11月28日から12月7日までの10日間にわたり開催された。
- ・次に、【資料7-2】をご覧いただきたい。
- ・提出案件については、当初議案20件で、いずれも原案のとおり可決・承認された。
- ・このうち教育委員会に関係する案件は、議案第68号「令和5年度鳩山町一般会計補正予算（第5号）の議定について」の1件であった。
- ・資料は、特に用意していないが、補正予算（第5号）の内容について、簡単にご説明させていただく。
- ・歳出補正の主なものとして、先ず、今宿小学校の校庭に設置してあるバスケットゴール、鉄棒、平均台などの運動用設備等が経年経過により老朽化しており、「事故防止」、「児童の安全を確保する」ため、修繕に必要な経費：36万6千円を増額補正している。
- ・次に、多世代活動交流センターの「消防設備点検」において、不良箇所が確認され、当初見込んでいた消防設備の修繕費に不足が生じたため、交換に必要な経費8万2千円を増額補正した。
- ・また、学校給食の配食量、「特に、サラダ類」の正確な計測に必要な「はかり」の備品購入経費として、3万円の追加補正を行っている。
- ・続いて、一般質問については、【資料7-3】の通告書のとおり、11人の議員から通告があり、教育行政に関する質問は、7人であった。
- ・はじめに、1ページの【質問順序】1番の関根清隆議員からの「3. 学校教育について」の「(1) 給食の無償化の見通しはいかがか」については、私が答弁している。
- ・また、「(2) 公立小中学校の義務教育の中で、魅力ある教育や独創的教育のプログラム等を企画し、実践することは可能か、またその考えはあるか」、

- ・「(3) 通学時、教科書とタブレットを持参するのは重く、生徒にとって負担なので、タブレットで教科書をクラウドから閲覧するなど、対策を検討できないか」については、宮崎教育長が答弁している。
- ・続いて、同じく、1ページの【質問順序】2番の中山明美議員からの「1. 鳩山中学校のデジタル採点システムについて」及び2ページの【質問順序】3番の大賀広史議員からの「2. 教育行政と子育て支援」の(1)「小中学校不登校の状況と課題はいかがか」についても、宮崎教育長が答弁している。
- ・次に、4ページの【質問順序】7番の野田小百合議員からの「1. 小中学生の登下校の安全確保について」、6ページの【質問順序】9番の根岸富一郎議員の「3. 学校給食について」、同じく、6ページの【質問順序】10番の小鷹房義議員からの「3. 幼稚園の3年保育について」、7ページの【質問順序】11番の森利夫議員からの「2. 給食センターについて」、については、私が答弁している。
- ・最後に、【資料7-4】については、12月定例会に報告した9月定例会以降の9月から11月までの教育委員会に対する「一般教育行政定期報告」になるので、後ほど、ご覧いただきたい。
- ・報告は以上となる。

○小峰教育長職務代理者

- ・島野事務局長からの報告に対し、質疑のある場合はお願いしたい。
(質疑なし)

○山口委員

- ・デジタル図書館の利用状況について評価をしているか。またいつから開始したか。

○島野事務局長

- ・令和3年12月から開始し、現在は登録者数2,000人を超えている状況である。

○小峰教育長職務代理者

- ・資料7-4の図書館のところに、令和3年12月から利用開始、月約400件のログイン数、閲覧数は約800と書かれている。開始から2年目で周知され、思ったより利用されていると感じた。

(2) その他

○小峰教育長職務代理者

- ・次に、(2) その他について事務局から何かあるか。
(なし)

◎ 日程第3 議事

○小峰教育長職務代理者

- ・それでは、日程第3 議事に入ります。

(1) 議案第9号 鳩山町立鳩山幼稚園魅力アップ計画(案)について

- ・朗読：島野事務局長/説明：坂元主幹

○小峰職務代理者

- ・「議案第9号 鳩山町立鳩山幼稚園魅力アップ計画（案）について」を議題とする。
- ・事務局より、議案の朗読と説明をお願いしたい。

○島野事務局長

- ・それでは、「議案第9号」の提案理由の朗読並びに議案の内容説明をする。
(議案第9号を朗読)
- ・議案の内容説明については、鳩山町立鳩山幼稚園教務・指導担当の坂元主幹からさせていただく。

○坂元主幹

- ・議案第9号鳩山町立鳩山幼稚園魅力アップ計画（案）についてご説明申し上げます。
- ・3ページ「目次」をお開き頂きたい。
- ・内容につきましては、大きく3章に分けてあり、第1章においては、「はじめに」として、計画策定の趣旨、計画の位置付けについて説明している。
- ・第2章では、「現状及び課題並びに今後の幼稚園運営」として、グラフ等を使用して現状や課題について説明し、今後の運営方針や計画期間等について述べている。
- ・第3章は、「鳩山町立鳩山幼稚園魅力アップ計画」として、計画の具体的な内容や取組について説明している。
- ・最後に関連資料として、検討委員会の諮問書、答申書等を掲載している。
- ・9月28日実施の教育委員会 議案第7号についての説明の際に、「魅力アップ計画策定基本方針」内で、現状と課題や魅力アップにつなげる3つの柱等についてご説明させていただいたので、詳細は割愛させていただく。
- ・6, 7ページをお開き頂きたい。
- ・幼稚園及び町の乳幼児の現状について説明している。グラフ1「鳩山幼稚園の園児数推移」※印にあるとおり、2019年10月より保育料の無償化制度が始まり、入園児数の増加を期待したが、近隣の3年保育の幼稚園を選択する家庭が増加し、結果として鳩山幼稚園の園児数は減少した。
- ・また、7ページグラフ2「町内0歳から5歳の施設の利用状況」だが、円グラフ灰色部分が保育園を利用している人数と割合になり、1歳から5歳の半数以上が保育園を利用している状況である。また、3歳のグラフにおいて、保育所を利用していない14人中の10人がすでに私立幼稚園に入園しており、3歳からの幼稚園利用を求めている状況が見られる。
- ・続いて8ページの、中学生以下の子をもつ世帯を対象に検討委員会で実施したアンケート調査における、グラフ3「通園先を選択する際に重視する点、重視した点」についてだが、自宅から近いことを求める意見が最も多く、職員や園の雰囲気、教育内容の充実を求める意見に次いで、「就労等で預けたい」「昼食を提供している」「延長保育、預かり保育を実施している」など、保育の提供体制の充実を求める意見が挙がった。
- ・また、グラフ4「鳩山幼稚園の今後のあり方について望むもの」の結果として、3年保育を求める意見が45.5%となった。
- ・9ページをお開き頂きたい。
- ・アンケート結果を踏まえると、今後の鳩山幼稚園には、保育の提供体制の視点として、就労等を含め、早期から集団生活を求める保護者に、負担を軽減しながら幼児を預けやすい体制を整える

事、教育内容の充実の視点として、教職員間が連携し、特色ある教育を提供することが求められていると考え、「求められる幼稚園像」を3点設定した。

- ・1点目が、「早期から集団生活を求める保護者の希望に応えることのできる、地元公立園の特長を活かした幼稚園」である。
- ・2点目が「保護者の多様な就労に対応できる、幼児を預けやすい幼稚園」である。
- ・3点目が「教職員が連携し、特色ある教育を提供する幼稚園」である。
- ・以上3点の「求められる幼稚園像」を主眼において、保育の提供体制を充実させる「3つの柱」を設定し、幼稚園の魅力アップにつなげる施策を実施することとした。また、「3つの柱」を土台にして、これまでの教育内容に加えた新たな教育施策を実施し、園児がより充実した園生活を送ることのできる、活力ある幼稚園を目指す計画とした。
- ・続いて、10ページ及び11ページをご覧いただきたい。第5節「計画の期間及び目標設定等について」だが、10ページの黄色で示した部分は、検討委員会による提言の一部抜粋である。この提言を参考にして、「計画の期間」「目標値と評価時期」「目標達成の評価方法」について設定した。
- ・11ページの詳細をご覧いただきたい。「計画の期間」については、提言の2を参考にして、令和6年度から令和10年度の5年間とした。

「目標値と評価時期」については、提言の4を参考にした。目標例において、園児数の割合として3歳から5歳児の「15%」にあたる人数を確保することが示された。検討委員会で議論された令和4年4月当時の人口に当てはめると、3歳から5歳児「183人」の「15%」に当たる人口は「27.5人」である。そこで、この数値を整数値へと変換した「27人」を目標値とし、計画終了年度である、令和10年4月1日時点の園児数について、「27人」を確保することを目標とした。「目標達成の評価方法」については、目標に対する結果及び5年間の取組をまとめた「報告書」を作成する。また、第三者委員会に諮問し、多様な意見を求めることとしている。第三者委員会については、教育委員会外部評価委員会を活用して実施予定である。

- ・また、本計画終了後の幼稚園の運営方法については、目標値の達成状況及び報告書に対する第三者委員会の意見を踏まえ、政策会議に諮ることとしている。
- ・続いて、12ページをご覧いただきたい。「魅力アップにつなげる3つの柱」について説明している。13ページにイメージ図を掲載しているが、「3年保育の実施」「保育時間の延長」「学校給食の導入」の3つの柱で保育の提供体制を整え、適正な集団規模、適正な園児数の確保につなげ、園の教育活動がより充実するようにしていきたいと考えている。
- ・14ページ以降については、教育内容の充実について説明している。14ページから18ページでは、鳩山幼稚園において実施している日頃の教育内容について説明している。
- ・加えて、19ページ以降において、新たな4つの施策の実施について説明している。19ページをご覧いただきたいが、具体的な取組として、施策1、めざせ！読書大好き鳩山っ子、施策2、楽しもう、チャレンジ外国語、施策3、小学校と繋がる 架け橋期カリキュラム、施策4、幼稚園に集まれ プレ保育と、4つの施策の実施を計画している。
- ・20ページをご覧いただきたい。
- ・施策1、「めざせ 読書大好き鳩山っ子」については、これまでも園の特色として取り組んできた「読書活動」について、町立図書館との更なる連携を計画している。具体的には、学期ごとに町立図書館の蔵書を50冊園で借り受け、読み聞かせや絵本の貸し出しに活用する。
- ・また、これまで担当が実施していた絵本の読み聞かせに加え、図書館司書や読み聞かせボランティアを園に招き、蔵書の紹介や読み聞かせなどの交流を実施し、読書好きの園児を育てる。
- ・21ページをご覧いただきたい。施策2「楽しもう、チャレンジ外国語」だが、園での多様な経験

の一つとして、外国語や外国の文化に触れる機会を設ける計画である。本年度策定された「鳩山町少子化対策チャレンジプラン」で提案されている「はとっ子イングリッシュリトミック教室」への参加や、小中学校の英語、外国語教諭等を園に招き、外国語遊びを実施し、外国語や外国の文化へ興味関心をもつ園児を育てる。

- ・22 ページをお開き頂きたい。施策3「小学校と繋がる 架け橋期カリキュラム」である。
- ・イメージ図を掲載しているが、幼児期の「遊びを通しての学び」から、児童期の「教科等による学び」へと移行する際に、子供たちがその違いを乗り越えられるように、様々な工夫をすることが必要とされている。文部科学省において、5歳児の初めから小学校1年生の終わりまでが、学びの「架け橋期」として設定されたが、鳩山幼稚園においても、幼稚園の教育が小学校以降の教育へと滑らかに結びついていくように、教育計画を体系化した「架け橋期カリキュラム」を作成し、自ら学びたいと行動できる園児を育てる。
- ・続いて、23 ページの施策4「幼稚園に集まれ、プレ保育」だが、プレ保育とは、入園前の幼児と保護者が、園生活の一部を体験する事業である。鳩山幼稚園においても、平成23年度から未就園児保育体験を実施してきたが、本計画内で内容を再検討し、新入園児の獲得を見据えた新たな取組として実施する。
- ・具体的には、入園予定の親子を対象とした、入園準備に係るプレ保育を実施し、園生活の体験の場を設定する。また、子育ての支援として、0歳の親子から利用可能な、定期的な施設・園庭開放事業を実施する。加えて、町の子育て情報を集約した「はとっ子子育てカレンダー」を作成し、ホームページ等を活用した情報発信を行うことを計画している。
- ・町内の乳幼児親子が鳩山幼稚園と関わる機会を増やし、入園児数の獲得へとつなげたい。
- ・現在、本計画についてパブリックコメントを実施している。教育委員の皆様からのご意見を頂戴し、最終的な計画作りを進めてまいりたい。
- ・説明は以上となる。

○小峰教育長職務代理者

- ・質疑のある委員はいるか。

○山口委員

- ・P6のグラフを見ると2014年から園児数がどんどん減っているが、町内の4・5歳児の割合からするとどの程度の減り具合か。4・5歳児の減り具合によっては園児が減っていないということもあるかもしれない。計画そのものには感心しているが、保育を支持する親も一定数おり、あまり変わらないかもしれない。幼稚園が良いか保育園が良いかは難しい問題だ。

○坂元主幹

- ・具体的な数字は示していないが、私が就職した20年前は、4・5歳児の6割が保育園、3割が町立幼稚園、1割が私立幼稚園だった。今は7割が保育園、2割が私立幼稚園、1割が町立幼稚園となっている。

○山口委員

- ・昔町立幼稚園の入園式にも卒園式にも出席したが、素晴らしい成長を感じ、鳩山幼稚園は素晴らしい教育をしていると親御さんにお伝えしていた。保育園を選択する親の割合には抗しがたいが、計画の中身は賛成で素晴らしいと思う。

○伊藤委員

- ・とても魅力的な施策がいっぱい盛り込まれていると思う。P22の架け橋期プログラムの具体例は？

○坂元主幹

- ・冬に園庭に水を張ったバケツを置いておき、児童に氷になった様子を見て、不思議だなあと興味を持ってもらい、理科の教育にするなど、幼稚園の遊びなど生活体験が小学校での教科の学びに繋がるような指導計画を考えている。

○伊藤委員

- ・是非、頑張って実施いただきたい。

○村岡委員

- ・意見とお願いになる。イングリッシュリトミック教室は在園児が参加すると思うが、入園前のプレ保育でも体験させてはいかがかと思う。

○坂元主幹

- ・イングリッシュリトミック教室は、未就園児を対象とした町の取組で、うち数回を町立幼稚園で実施できないか検討をお願いしている。

○小峰教育長職務代理者

- ・P6とP7のパーセンテージについてだが、未就学時の両親に共稼ぎが多く、核家族で祖父母も働く人が多い中、お迎えの時間の見守りを要する幼稚園は難しい。引き取りは、保育時間の延長により勤務後に行えるとしても、(勤務と重なる、)預ける時間の確保が厳しいためだ。幼稚園を好む方には是非町立を選択して欲しい。この計画の実施により、私立幼稚園との違いが埋まってくるのではないだろうか。またいかに宣伝や発信をするかが大切だ。計画を未就園児の保護者へお伝えすることで、計画のゴールである10年度の園児の獲得に結び付くのでは。今まで幼稚園に協力した方もいると思うが、まとまった計画を示せば、この部分なら手伝えるという方も今以上に出てくると思う。

○小峰教育長職務代理者

- ・ほかに質疑のある委員はいるか。
(意見なし)

○小峰教育長職務代理者

- ・それでは、本議案は、議決とする。

◎ 日程第4 その他

(1) 協議事項

(なし)

(2) 教育委員報告事項

(なし)

(3) その他

○宮崎教育長

- ・本町が令和6年度より川越都市圏まちづくり協議会（レインボー協議会）に参加する調印式が1月22日にあった。令和6年度より川越市周辺の市町村の施設が住民と同じ料金で相互利用できるようになる。

○松ノ元局長補佐

- ・メジャーリーガーである大谷翔平さんから各小学校へ3個ずつ寄贈があったグローブを、1月16日に亀井小学校、1月17日に今宿小学校、1月19日に鳩山小学校へ届けたので報告する。
-

(4) 次回教育委員会の開催日程について

○小峰教育長職務代理者

- ・それでは、続いて、「(4) 次回教育委員会の開催日程について」であるが
- ・次回会議の日程について事務局の説明を求める。

○松ノ元局長補佐

- ・2月と3月の日程を決めたいが、2月は3候補、3月は4候補から、委員の皆様のご予定でお決めいただきたい。

※委員間協議

○小峰職務代理者

- ・それでは次回会議は、令和6年2月19日（月）午後1時30分から、令和6年3月28日（木）午後1時30分から、それぞれ2階委員会室で開催する。

○小峰職務代理者

- ・全ての議題が終了したので進行を事務局にお返しする。
-

◎閉会の宣言（午後3時28分）

○宮崎教育長

- ・以上をもって、令和5年度第6回鳩山町教育委員会を閉会する。